

統計教育シンポジウム

新学習指導要領における統計教育必修化を考える ～ 高校数学Ⅰ「データの分析」をどう教えるのか ～

コーディネーター・司会 田栗 正章 (大学入試センター副所長)

13:00-13:05 開会の挨拶 田栗 正章 (大学入試センター副所長)

13:05-14:05 講演Ⅰ

「高等学校学習指導要領改訂について」

藤原 志保 (文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程企画室室長補佐)

14:20-15:50 講演Ⅱ

「NCTM2000以降の米国における数学教師研修システム－米国統計学会とUCLA統計学部との取り組み－」

Robert Gould (カリフォルニア大学ロサンゼルス校 統計教育センター長, 同大学統計学部副学部長)

解説・通訳 南 美穂子 (慶応大学理工学部教授)

16:05-16:35 講演Ⅲ

「日本の高校の数学教育について」

楠岡 成雄 (日本学術会議数理科学委員会委員長, 東京大学大学院数理科学研究科教授)

16:35-16:55 総合討論 ー統計教育の今後ー

竹村 彰通 (日本学術会議数理科学委員会数理統計分科会委員長, 東京大学教授)

岩崎 学 (統計関連学会連合統計教育推進委員会委員長, 成蹊大学教授)

16:55-17:00 閉会の挨拶 田村 義保 (統計数理研究所副所長)

日時:平成21年5月16日(土)

午後1時から午後5時

場所:統計数理研究所講堂
(東京都港区南麻布4-6-7)

参加費無料

主催:統計数理研究所, 統計関連学会連合統計教育推進委員会
後援:全国統計教育研究協議会, (21-共研-4203)